## 形成外科学

担当講座	形成外科学講座    問合せ先   形成外科学講座										
分野責任者	櫻庭 実 教授										
担当教員	櫻庭 実 教授   本多 孝之 特任准教授										
人材育成の 基本理念	形成外科学の基礎および臨床研究者を育成する。										
主な研究内容	形成外科学の臨床の基礎となる、もしくは進歩につながる研究を行う。										
	教育成果			該当するディプロマポリシー							
教育成果(アウトカム)	形成外科学に係る臨床及び基礎的知識を習得し、形成外科領域の疾患の診断および治療技術の原理を総合的かつ系統的に学ぶことにより、 形成外科医として革新的な医療を立案・遂行するために必要な幅広い知識を習得する。形成外科の対象となる疾患の病態を理解し、本領域における学術的課題を見出し、その課題に対する研究を計画・立案・遂行することにより、高い倫理性をもって、高度医療や医学研究を遂行できる能力を獲得する。形成外科プロフェッショナルに要求される研究方法論を学ぶことにより最新の生命科学ならびに医学研究の動向について、継続的に情報収集と解析を続ける能力を形成する。										
	達成目標		対象科目								
	(1)生命科学や、医学研究のための基本的な知識を活用できる	ベーシックセミナー、形成外科学 I ・II									
	(2)適切な研究デザイン、解析法を立案し実施できる。	研究方法論、形成外科学 I									
	(3)得られた研究結果を正しく解釈できる。	特別研究ⅠⅡⅢ、形成外科学Ⅰ									
	(4)解析結果ををまとめ、発表できる(英文が望ましい)	特別研究ⅠⅡ Ⅲ、形成外科学Ⅰ									
	(5)病因の解明や治療法の発展に寄与できる。	特別研究 I II III、形成外科学 I · II									
	(6) 次世代の人材育成に貢献できる。	特別研究 I II III、大学院セミナー									
達成目標	(7)体表・頭蓋顎顔面・四肢先天異常の病因、病態生理、症候、画像、臨床検査、診断、治療および予後、今後の臨床的課題などを説明できる。	形成外科学 I									
	(8)体表・頭蓋顎顔面・四肢領域の外傷・組織損傷の病態、症候、画像、臨床検査、 診断、治療および予後、今後の臨床的課題などを説明できる。	形成外科学Ⅱ、形成外科手術学Ⅰ・Ⅱ									
	(9)体表における良性・悪性腫瘍の病因、病態生理、症候、画像、臨床検査、診断、 治療および予後、今後の臨床的課題などを説明できる。	形成外科手術学Ⅰ・Ⅱ									
	(10)顔貌や体表変形に関連した整容的診療対象について、病因、病態生理、症候、 査、診断、鑑別診断、治療および予後、今後の臨床的課題などを説明できる。	形成外科学 I 、形成外科手術学 I • Ⅱ									
	(11)上記疾患に対する診療との関連から、組織修復や創傷治癒の過程について説明	できる。	形成外科学Ⅱ、形成外科手術学Ⅰ・Ⅱ、形成外科診断学・治療学								
	(12)上記疾患に対する診療との関連から、植皮や皮弁をはじめとする形成外科的治 と問題点について説明できる。	療技術の原理	形成外科手術学Ⅰ・Ⅱ、形成外科診断学・治療学								
	(13)形成外科診療にかかわる課題から、臨床的並びに基礎的研究計画を立案、遂行	できる。	特別研究ⅠⅡ Ⅲ、形成外科手術学Ⅱ、形	成外科診断学・治療学							
	(14)形成外科領域全般における診療内容と技術を理解し、基本的診療技能を実践で	特別研究ⅠⅡⅢ、形成外科学Ⅱ、形成外科手術学Ⅰ・Ⅱ、形成外科診断学・治療学									
	(15)国際学会における英語でのプレゼンテーション、あるいは英語論文の執筆ができる。 特別研究ⅠⅢ Ⅲ、形成外科手術学Ⅱ、形成外科診断学・治療学										
資格取得等	形成外科専門医取得につなげる。										
履修に関する 情報	履修に支障がある場合は、可能な限り日程等の調整を行う。入学時より前半の2年間の間に共通教育科目の必修科目「研究方法論(2単位)」に加えて、に加えて、 選択必修科目「がんのペーシックサイエンス(2単位)」「生命科学解析手法概論(2単位)」「脳のペーシックサイエンス(2単位)」のいずれかを履修する。(問 合せ先:形成外科学講座・内線 6571)。										

## ●在学中に履修できるカリキュラム

区	区分配当年次			科目名	開講	コマ数	単位	修了までに 必要な単位	備考
		1~2年	講義	形成外科学 I	通年	30	4		
研	選	1.024	講義	形成外科学Ⅱ	通年	30	4		
究特	択必		実習	形成外科手術学 I	通年	120	8	20単位	※20単位以上の取得可
論	修	1~4年	実習	形成外科手術学II	通年	120	8		
			演習	形成外科診断学・治療学	通年	60	8		
特	24	2年		特別研究 I (初期審査)	通年	8	1		W0001 fr ffe   1 Ph 1 2 44
研	別 必 修	3年		特別研究 II (中間審査)	通年	8	1	4単位	※2021年度以降入学者 対象科目
究				特別研究Ⅲ (論文作成)	通年	15	2		. 13-11H

●各科目の授業計画 形成外科学

コード	MD15161010				MD15161020			MD15161030				MD15161040					
科目	形成外科学 I				形成外科学Ⅱ			形成外科手術学I				形成外科手術学Ⅱ					
科目責任者		本多孝之				櫻庭実				櫻庭実				櫻庭実			
担当者	本多孝之					櫻庭実				櫻庭実、本多	孝之			櫻庭実			
会場	形成外科医局					形成外科医	局			中央手術部	K			中央手術	部		
区分等	区分	講義	単位	4	区分	講義	単位	4	区分	実習	単位	8	区分	実習	単位	8	
- 区ガザ	回数	通年30コマ	配当年次	1~2	回数	通年30コマ	配当年次	1~2	回数	通年120コマ	配当年次	1~4	回数	通年120コマ	配当年次	1~4	
主な 授業内容	先天異常	学			外傷学・	創傷治癒学			Atrauma	tic technique の基礎	巻と臨床		形成外科	H的組織移植術の基	礎と臨床		
教	教 ウ 育 <sub>庁</sub> ト <sub>東 カ</sub>				いて説明できる。			愛護的な組織の取り扱いについて習熟する。 基本的な縫合、植皮術、および簡単な皮弁の 挙上が来る。				皮弁、植皮を含む組織移植の基本事項を理解 し、その種類と特徴、生着過程が説明できる。					
S B 目 到 O	分野の道 1,2,3	達成目標 , 4, 5, 7, 10			分野の達 1,5,8	E成目標 , 11, 14			分野の達成目標 8, 9, 10, 11, 12, 14 8、9, 10, 11, 12, 13, 14, 15								
特記事項	各講義に対する事前事後学修は4時間程度を要し、内容は担当教員に確認すること。 【2021年度以降の入学者】全講義後終了後は速やかに「受講票・履修報告書」をWeb Classにアップロードすること。 「受講票・履修報告書」の記載が不十分な場合は、担当教員がコメントをつけて返却するので、期日までに再打出すること。 【2020年度までの入学者】講義の出欠は履修手帳で管理する。								ت کی								
評価 方法	(60点未満は再提出)。									とする							
講義日程	時間割参	照															
教科書 参考書	標準形成	<b>以</b> 外科学、			TEXT形	成外科			形成外科	の基本手技			形成外科の基本手技				

コード		MD151610	150			MD151690	110			MD1	E1400	120			MD15	169030	
3-1								MD15169020									
科目	形成外科診断学・治療学			特別研究 I				特別研究Ⅱ				特別研究Ⅲ					
科目責任者		櫻庭実			各(正)指導教員				各 (正)	) 指導	教員			各(正)	指導教員		
担当者		櫻庭実				各指導教具	Ę			各指	<b>i</b> 導教員	Į			各指導	<b>尊教員</b>	
会場		形成外科医	局			各指導教員と相談	の上決定			各指導教員	と相談	の上決定			各指導教員と	相談の上決定	
区分等	区分	区分 演習 単位 8			区分	演習	単位	1	区分	区分 演習 単位 1		区分	演習	単位	2		
	回数	通年60コマ	配当年次	1~4	回数	通年8コマ	配当年次	2	回数	通年8コマ		配当年次	3	回数	通年15コマ	配当年次	4
主な 授業内容	臨床例の	)検討				学や研究手法の基  画調書の作成	礎的な知語 ・初期審査			学や研究手活 査の準備	去の専	門的な知識	ŧ.	・ 金の科・ 論文作	学や研究手法。  :成	の 発展的な知 ・最終試験の準	
教育成果	教 ついて報告できる。				究内容の討議を行い、質問に対し、適切に答えることができる。  <初期審査>2年次末までに実施。研究指導教員同席のもと非公開で実施する。研究計画調書等に基づき、研究の概要について口答で説明し、その妥当性について審査を受け、今後の研究の進め方について指導を受ける。			生命科学や研究手法の専門的な知識を身につける。研 究内容の討議を行い、質問に対し、適切に答えること ができる。 〈中間審查〉3年次末までに実施。研究指導教員同席 のもと非公開で実施する。研究計画調書に基づき、研 究の概要及び進捗状況について口答で説明し、現在に 至るまでの過程及び初期審査時の目標の遺成度等につ いて審査を受け、今後の研究の進め方について指導を 受ける。				生命科学や研究手法の発展的な知識を身につける。最終試験に向けて、情報を適切に分析し、論旨を展開できる。 <論文作成>学位申請までに実施。論文作成に向けた データ収集や解釈、図譜の作成や記載ができ、論文を 作成できる。					
S B 目 到 O 標 達	目到   11 12 13 14 15				分野の達成目標     分野の達成目標       3, 4, 5, 6、13, 14, 15     3, 4, 5, 6、13, 14, 15					分野の達成目標 3, 4, 5, 6, 13, 14, 15							
特記事項	各講義に対する事前事後学修は4時間程度を要し、内容は担当教員に確認すること。 【2021年度以降の入学者】全講義後終了後は速やかに「受講票・履修報告書」をWeb Classにアップロードすること。「受講票・履修報告書」の記載が不十分な場合は、担当教員がコメントをつけて返却するので、期日までに再提出すること。 【2020年度までの入学者】講義の出欠は履修手帳で管理する。			速やかに プロードす 十分な場 ので、期	各講義に対する事前事後学修は4時間程度を			各講義に対する事前事後学修は4時間程度を要し、内容は担当教員に確認すること。 中間審査の詳細は、「初期・中間審査の手引き」を参照。					各講義に対する事前事後学修は4時間程度を 要し、内容は担当教員に確認すること。 最終試験の詳細は、「最終試験の手引き」を 参照。				
評価方法	価とし、ABC (60点以上)を合格とする (60点未満は								(A:100∼80 /±	恒、B:7	79~70点、	C:69∼€	50点、D::	59~0点)の4彩	段階評価とし、	ABC	
講義日程	時間割参	<b>注照</b>			1												
教科書 参考書																	

【前期】	講義時間	月	火	水	木	金	土
1 限	8:50~10:20		形成外科診断学・治療学			形成外科診断学・治療学	共通教育科目
2 限	10:30~12:00		形成外科手術学I			形成外科手術学Ⅱ	<b>兴旭</b> 狄月行日
3 限	13:00~14:30		形成外科手術学I			形成外科手術学Ⅱ	
4 限	14:40~16:10		形成外科手術学I			形成外科手術学Ⅱ	
5 限	18:00~19:30	形成外科学I					
6 限	19:40~21:10	形成外科学II	特別研究 I ~III				
【後期】	講義時間	月	火	水	木	金	土
1 限	8:50~10:20		形成外科診断学・治療学			形成外科診断学・治療学	共通教育科目
2 限	10:30~12:00		形成外科手術学1			形成外科手術学II	共通软目符目
3 限	13:00~14:30		形成外科手術学I			形成外科手術学II	
4 限	14:40~16:10		形成外科手術学I			形成外科手術学II	
5 限	18:00~19:30	形成外科学I					
6 限	19:40~21:10	形成外科学II	特別研究I~III				

## <履修スケジュール> ※各自記録してください。

【前期】	講義時間	月	火	水	木	金	土
1 限	8:50~10:20						
2 限	10:30~12:00						
3 限	13:00~14:30						
4 限	14:40~16:10						
5 限	18:00~19:30						
6 限	19:40~21:10						

【後期】	講義時間	月	火	水	木	金	土
1 限	8:50~10:20						
2 限	10:30~12:00						
3 限	13:00~14:30						
4 限	14:40~16:10						
5 限	18:00~19:30						
6 限	19:40~21:10						